

FS200 手順: 名刺を印刷する



FS200 手順:名刺を印刷する

機能概要

Fiery® Impose は、面付けプロセスを合理化および自動化して制作を効率化できる、サーバーベースの面付けオプションです。ギャングアップ面付けタイプは、一般的には名刺の印刷に使用されます。この面付けでは、Impose の「ユーザー定義の仕上がりサイズ」設定を利用できます。この設定は、PDF 文書で定義されているトリム ボックスとブリード ボックスを自動的に検出することによって、デザイナーのインテントを使用します。

Fiery Impose の「ユーザー定義の仕上がりサイズ」設定を面付けテンプレートとして保存し、Fiery Hot Folders、仮想プリンター、サーバー プリセットを使用して今後のジョブ送信を自動化することができます。

ゴール

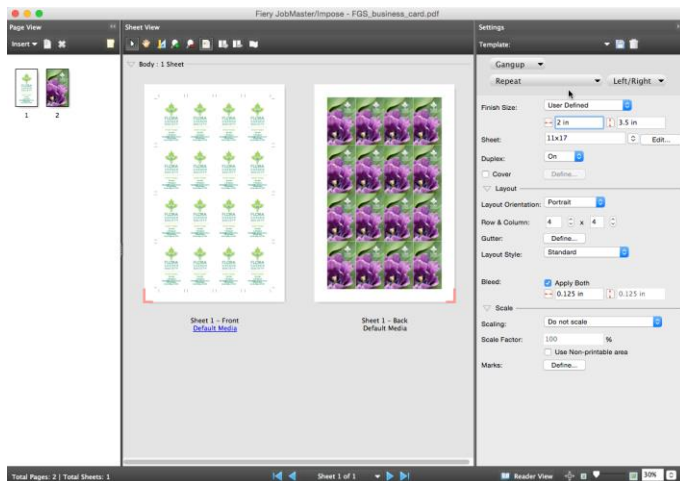
- 名刺用の面付けレイアウトを作成して保存する
 - ユーザー定義ワークフローを適用する

その他のリソース

その他のソフトウェア ダウンロードやトレーニング リソースについては、[Fiery オンライン リソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation® 5.7（またはそれ以降）を起動し、Fiery FS200/FS200 Pro を実行している、少なくとも 1 つ以上の Fiery サーバーに接続してください。
- Command WorkStation を実行しているコンピュータで Fiery Impose のライセンスをアクティベートします。
- サンプル ファイル
(FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf) を Fiery サーバーの待機キューに送ります。ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation 内のインポート メニュー オプションを使用してください。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。



名刺用の面付けレイアウトを作成して保存する

1. Command WorkStation の待機リストで **FS200_FGS_business_card_SAMPLE.pdf** ファイルを選択します。次に、右クリックして「**Impose**」を選択します。
2. 「設定」ペインで製品インテントとして「**ギャングアップ**」を選択します。
3. 「ギャングアップ」の下で「**反復**」を選択します。
4. 「仕上がりサイズ」で「**ユーザー定義**」を選択します。

Fiery Impose の「ユーザー定義の仕上がりサイズ」での面付けは、PDF ファイルのトリムボックスの仕上げるオプションを使用します。この機能強化により、Fiery Impose のテンプレートを「ユーザー定義の仕上がりサイズ」設定で使用して、これらのテンプレートを Fiery Hot Folders、仮想プリンター、ジョブのプロパティ、およびサーバー プリセットなど、任意のジョブ送信の方法またはワークフローで利用できます。

5. 「シート」で「**11x17**」または「**A3**」を選択します。
6. 「両面」で「**オン**」を選択します。
7. 「レイアウト」領域で次のオプションを設定します。
 - a. レイアウト方向: 「**縦**」を選択します。
 - b. 行と列: **2 x 1**
 - c. とじしろ: 「**定義**」をクリックします。いずれかのフィールドに「**0.25 インチ**」と入力し、「**すべてに適用**」をクリックします。「シート表示」ペインで、各カードの間に 0.25 インチの空白がとじしろとして表示されます。「**OK**」をクリックして閉じます。

8. Command WorkStation の環境設定で「ユーザー定義」オプションがデフォルトに設定されている場合、ジョブを Impose で開いたときに、ブリード値は自動的に設定されています。

Impose では、「ユーザー定義」を有効にすると、トリム サイズの値から仕上がりサイズの値が設定され、ドキュメントからブリード値が自動的に設定されます。

9. 「ページマーク」で「定義」をクリックします。
10. 「トリム」タブで「トリミングマーク印刷」チェック ボックスを選択します。
11. 「マークをおもて面のみ印刷」チェック ボックスを選択し、「OK」をクリックして閉じます。
12. 「テンプレート」の横の「保存」アイコンをクリックして、この新しいテンプレートを今後も使用できるように保存します。この例では、「BusinessCard_UserDefined」と入力し、「OK」をクリックします。
13. 「テンプレート」メニューに「BusinessCard_UserDefined」が表示されるようになります。
14. 名前を付けてジョブを保存します。
15. 「ファイル」>「保存」をクリックします。
16. 「通常の面付けジョブとして保存」をクリックし、ジョブ名を「BusinessCards」に変更します。完了したら、「OK」をクリックします。
17. Fiery Impose を終了するには、「ファイル」>「終了」をクリックするか、隅にある赤い **X** をクリックします。
18. 新しいジョブが待機リストに保存され、印刷できるようになります。

以前に保存した面付けテンプレートを仮想プリンター、Hot Folders、またはジョブのプロパティに適用して、類似ジョブの今後のワークフローを改良することができます。

EFIはお客さまのビジネスの発展をお手伝いします

EFIは看板・パッケージ・繊維製品・セラミックタイル・パーソナライズされた書類の制作のための革新的テクノロジーを開発しています。EFIの提供する様々なプリンター・インク・デジタルフロントエンド・総合的ビジネスソリューション及び生産ワークフローにより、生産プロセスを改良・簡素化することで、印刷業界で圧倒的な競争力と高い生産性を手に入れることができます。詳細は：<http://www.efi.co.jp>まで。



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, Best, the Best logo, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, DockNet, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, Fabrivu, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, InktenSity, Inkware, Jetrion, the Jetrion logo, LapNet, Logic, MiniNet, Monarch, MicroPress, OneFlow, Pace, PhotoXposure, Printcafe, PressVu, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Rastek, the Rastek logo, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincrolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.